

伝

DEN

No.14

2015.1.14
発行

作業療法を伝える
NEWS&COMMUNICATION

公益社団法人 大分県作業療法協会 広報誌



心豊かに作業療法

CONTENTS

- | | |
|-----------------------------|-------------|
| 1 教えて作業療法 | 11 作業療法一日体験 |
| 2 まんが作業療法物語 ～スポーツ編～ | 12 作業療法フェスタ |
| 7 施設紹介：「別府重度障害者センター」・「もみの木」 | 13 以心DEN心 |
| 施設紹介：「大分下郡病院」・「恵みの聖母の家」 | 14 活動報告 |
| 9 作業療法士だから引き出せるスポーツの力 | |
| 10 世界作業療法士連盟大会(WFOT)参加報告 | |



公益社団法人 大分県作業療法協会

教えて! 作業療法

スポーツと作業療法!!

今号は、作業療法士としてスポーツに関わっている人やスポーツを用いた作業活動を積極的に取り入れている施設を特集しました。

一般的にスポーツは、①競技スポーツ(サッカー、野球、陸上など)、②楽しさや娯楽を求めるレクリエーション、③健康を志向する体操・ダンス、トレーニングなどのフィットネス、④リハビリテーションの一環として行われるスポーツ があります。その他に、障害のある人のために新たに創られた、あるいは既存スポーツの道具やルールなどを改良した「障害者スポーツ」、障害の有無や年齢に関係なく誰もが一緒に楽しめる「ユニバーサルスポーツ」があります。私たち作業療法士は、対象者のこころとからだの状態を考慮しながらスポーツを病院・施設における作業活動として、またその方の生活の質(QOL)を高めるための手法として取り入れています。



競技

フィット ネス



スポーツ (障害者スポーツ)



レクリ エーション

リハビリ テーション



スポーツを行う目的

作業療法士は、身体(からだ)または精神(こころ)に障害のある人、またはそれが予測される人に対して、その人らしい“いきいきとした生活”が営めるようスポーツを提供しています。

からだに障害のある人

- ・バランス能力の向上
- ・持久力の向上
- ・耐久性の向上
- ・生活リズムの改善



こころに障害のある人

- ・楽しみの提供
- ・ストレスの発散
- ・対人交流の場・協調性の獲得など
- ・意欲の向上



老年期に障害のある人

- ・運動機能の維持・向上
- ・気分転換
- ・生活リズムの改善



発達期に障害のあるこども

- ・適切な感覚を入力する
- ・目と手の協調動作の向上
- ・達成感を感じ自信をつける
- ・遊び方を学び社会性を身につける



* 7P～8Pでは施設や病院の取り組みを紹介します *

まんが

作業療法物語 ～スポーツ編～

おなじみ、大分愛太



Aさんは大学卒業後、大手企業に就職し3年

普段から仕事熱心で、上司からの信頼も厚く、
また休みの日には恋人や友人と旅行、スポーツを
するなど活動的で充実した生活を送っていました



ところがある日、
Aさんは仕事中に10mの高さから転落し救急車で
救急病院へ搬送されました



Aさんは脊髄を損傷し、
後遺症として両足に麻痺が残り、
一人で座ることも難しく
しばらく寝たきりの状態でした



今日も療子ちゃんたちが
お見舞いに来てくれているわよ
そろそろ会ってあげたら？

会いたくないんだ
帰ってもらってよ

ごめん
なさいね

いえ
また来ます

交友関係の多かった A さんでしたが、事故をきっかけに人と関わることを避けるようになりました

その後、リハビリ病院へ転院し
リハビリが開始となりました

始めまして！
今日から担当になります
作業療法士の大分療太です

よろしく
おねがいします

リハビリを開始し、まずは座ることから始め、
身の回りのことが自分でできるように練習をしていました

よろしく
お願いします……



リハビリの結果、病院内の生活は車いすや
福祉用具を使用し一人でできるようになりました

身の回りのことができるようになったAさんでしたが、リハビリ室でも担当の療太さんと言葉を交わす程度で他の入院患者さんとは、交わろうとせず、また恋人や友人との面会も断り続けていました



結果、リハビリの時間以外は、ベッドの上で寝ていることが多く、行動範囲が狭い状態でした

どうしたらAさんの気持ちが前に進むんだろう…



次の日

Aさん!



体育館

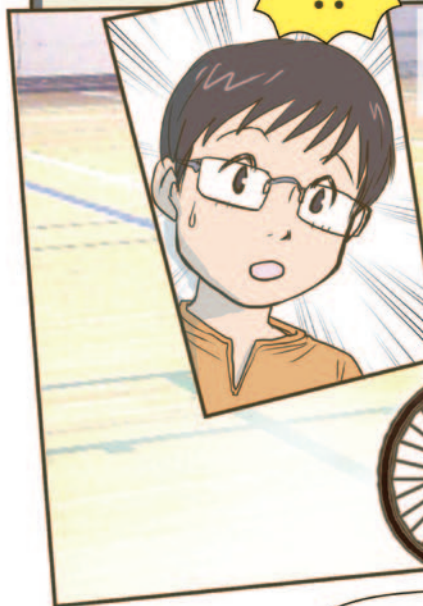
体育館……??

今日はAさんに
会わせたい人がいるんです



!!

そこでは、障害を持っているにもかかわらず、幅広い世代の方がみんなで真剣にスポーツに取り組んでいました



Bさん、今日も
車椅子マラソンの練習
頑張っていますね

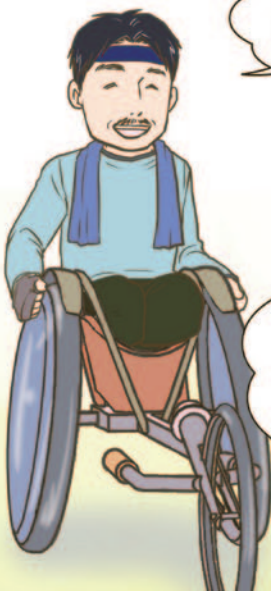
大会が近いからね。
追い込みの時期だよ

はじめましてA君

Aさん、こちらBさんです
Aさんと同じ年齢のときに
交通事故で
脊髄を損傷してしまったんですよ

この人と、僕は違うよ
どうせ、僕より障害が
かるかったんだよ…

君を見ていると
15年前の僕を思い出すよ





大会に向けて、Aさんと相談をしながらリハビリを続けました

これが実際の
レースで使う
車椅子ですよ

こんなに細い形の
車椅子は
初めて見たよ!

実際のレースでは
時速30キロもですよ

でもどうやってこぐの?
こげるか心配だ

大丈夫、練習すれば
こげるようになります!

そうなんだ…!

やっぱりうまく
こげないな…

こぐ時は専用のグローブを付けて
ハンドリムの側面を叩くようにして
こぐといいですよ

それとこぐためには、
上腕三頭筋という力こぶとは反対側の筋肉と、
こぎ終わったあとすぐに腕を引き上げるために
背中や肩周りの筋肉がとても重要です

まずは、もっと腕や
手の筋力を鍛えましょう

そして大会当日!!!

位置についでー

緊張してきましたよ
大丈夫かなあ…

ずっと練習してきた
じゃないですか!
大丈夫、ゴールしましょう

やっぱり
無理だったのかなあ

Aさん
諦めないでー!

Aさん
その調子!

みんな…

Aくん頑張ってー!

今まで「なぜ自分だけが」と
悲観的だった A さんでしたが、

必ずゴールをしよう!



あともう少し!
A さん頑張って!

レースを通じて、みんなに支えられて
ここまで来ることができたのだと気付きました

みんながいてくれたから
ここまでやってこれたんだ

ありがとう!

車椅子マラソンに出たことをきっかけに、
自分の障害と向き合い生活の幅が広がりました

色々と挑戦したい気持ちが聞かれるようになり、
車の運転や就労、家族や友人との旅行にも
チャレンジすることができました

～数年後～

A さん、お久しぶりです
今日は来ていただいて
ありがとうございます

こんにちは
僕にできることがあるなら、
なんでも言ってくださいよ

今は、A さんがピアサポーターとして、いろいろな方に自身の経験を話してくれています

僕も、君みたいに不安で
誰とも会いたくないと
思ったころがあったんだよ

だけど、
いろんな人に助けられ、支えられ
今は考え方が変わったよ

もしケガをしていなかったらと
考える時もあるけど、ケガをしたことで
家族や友人の大切さに気づき

一緒に過ごす時間が増えたし、
新しい仲間もたくさんできた
とても幸せな人生を送れているよ

作業療法士は、日常生活だけでなく仕事や趣味など生活の幅を広げ、
日々の生活をより豊かにしていくお手伝いしています

おわり

国立障害者リハビリセンター自立支援局 別府重度障害者センター

所在地：大分県別府市南荘園町2組
TEL 0977-21-0181

入所定員：70名

主な対象：頸髄損傷者等の重度肢体不自由者

利用期間：個別支援計画で必要と認めた期間

利用者の要件：身体障害者手帳の交付を受けた15歳以上の重度の肢体不自由者でリハビリテーションの効果が期待できる者／恩給法別表第1号表の2に掲げる第2項症以上の身体障害を有する者。ただし、リハビリテーションを阻害する疾患等を有しない者。

リハビリテーションスタッフ：作業療法士4名 理学療法士4名 スポーツ訓練士1名

当センターでは、主に頸髄損傷者を対象とした機能訓練などを実施しています。その訓練の一つにスポーツ訓練があり、体力の維持向上や身体の使い方の再習得、健康づくりや生きがいとしてのスポーツなど、さまざまな目的で運動療法士が直接支援しています。

対象者は四肢麻痺の方が多いため、作業療法士に自助具や環境整備の協力依頼があります。例えばアーチェリーでは、弓・引き手具(リリーサー)・体幹固定に対する助言や自助具の作製、車いすマラソンでは、体幹を支えるクッションや車いす駆動に使用する装具の作製などです。スポーツが「できる」ようになるためには本人の努力は当然ですが、運動療法士や作業療法士などが専門性を発揮し協同することで、効果的な訓練に結びつき、スポーツへの参加や大会出場へとつながります。今後も、作業療法士として、多くの障害者の方がスポーツ活動に取り組めるよう支援を続けていきたいと思っています。



引き具や装具を使用しアーチェリーを行う



装具を使用した状態でのマラソン練習

社会医療法人 関愛会 こうざきデイケア・リハビリテーションセンター もみの木

所在地：大分県大分市大字本神崎251番地の8
TEL 097-576-1782

利用者数：定員50名(1日平均45名)

対象地域：大在～佐賀関方面

従事者：作業療法士2名 理学療法士3名

看護師1名 介護福祉士5名 介護士1名 健康運動指導士1名



当事業所では、利用中の移動や移乗など、ご利用者様の「できる能力」を十分に活用し、自立支援に取り組んでいます。5種類のマシンを使ったパワーリハビリテーションでは、各マシンへの移乗・移動も自力で行ってもらい、日常生活に必要な立ち座りの動作が繰り返し行えるよう支援しています。軽い負荷で反復運動を行うため、高齢者にやさしく、全身の筋肉の賦活化が図れます。利用者様からは身体が軽くなった、立ち座りが楽になったなどの声をお聞きます。次にレッドコードという天井から吊るされた赤い紐を使って集団体操を実施しています。両手で紐を持って行うため大きく身体を動かしても、安全に行うことができます。みんなで声を出しながら楽しく運動が行え、上半身を前後左右に動かすことで、お腹周りの筋力強化やストレッチを行うことができ、立ち座りがスムーズになった利用者様もいます。その他には、病前の趣味を生かした卓球やゲートボール、釣りの練習、園芸活動などに取り組んでおり、生活の質(QOL)の向上を目指しています。園芸活動では利用者様が主体となり、畑の耕しや作物の手入れなどを実施しています。収穫した作物は昼食の食材や調理訓練を実施する際の材料として使用しています。土曜日の「人生生き活き道場」では、社会参加を目的とした外出や、施設内だけで使用できる通貨(モーミー)を設け、利用者様の意欲を引き出すプログラムとなっています。今後にご利用者様の自立支援をサポートできるようなサービスを提供していきたいと思っています。また、何かご質問やご相談がある場合はお気軽にご相談ください。



レッドコードを使用したトレーニング



釣りの練習

「関愛会もみの木 オフィシャルブログ “もみの木”の木の understory」
http://blog.livedoor.jp/mominoki_reha/



医療法人同仁会 大分下郡病院

所在地：大分市大字下郡1410番地

TEL 097-579-1021

病床数：384床

- ・精神一般病棟
- ・精神療養病棟
- ・認知症治療病棟

主な対象：統合失調症・認知症・気分障害 等

リハビリテーションスタッフ：作業療法士8名 作業療法助手3名



シャッフルボード



バッグー

精神科領域におけるスポーツは、①気分の安定を図り精神の機能を改善する、②集団で周りに配慮するなど社会生活スキルの向上につなげる、③退院後の生活に必要な体力をつけることを目的としています。

当院では、年齢や性別を問わずに参加できるユニバーサルスポーツ(バッグー、ボッチャ、シャッフルボード、ターゲットパードゴルフなど)を訓練に導入しています。

ユニバーサルスポーツには、協会が設立されている活動も多く、手軽に実施できて、ルールの調整により負荷をかけることが可能で、楽しんで行えるというメリットがあります。初めて体験するという方が多いのも特徴ですが、楽しみながら新しい課題に挑戦でき、スキルアップすることで、達成感が得られる活動になっています。

今後は、ユニバーサルスポーツを行う団体との交流戦や、競技普及活動を通じて地域貢献につなげていければと考えています。

社会福祉法人 聖母の騎士会 恵みの聖母の家

所在地：大分県臼杵市野津町都原3601-2

TEL 0974-32-7770

外来利用者数：140名程度

入所者数：73名

主な対象：広汎性発達障害、注意欠如・多動性障害、知的障害、染色体異常、脳性麻痺、てんかん

リハビリテーションスタッフ：作業療法士3名 理学療法士2名 言語聴覚士2名



テーマ：「笑顔と遊び」

「キャハハハ」「いえーい」「すごーい」「上手にできたね」そんな声と笑顔で当施設のホールにはにぎわっています。

当施設は、カトリック教義の基本理念のもと、心身に重度の障害をもつ子どもから成人に至る入所者の方や、発達障害のお子さんに対して、リハビリテーション、日常生活や就学への支援、さらに地域施設や保育園・幼稚園・小学校を訪問し支援方法をご提案しています。

今回は、当施設で行っているリハビリテーションの方法や活動を紹介します。活動は、お子さんと一緒にトランポリンやスイング(揺れる遊具)、ハシゴといった遊具を用いてさまざまな運動をします。体の筋力が弱く椅子に座ただけでも姿勢が崩れてしまうお子さんには、トランポリンやスイングを使い姿勢を保つ運動を行ったりします。また、転びやすい子には遊具を用いてバランスの取り方を学習してもらいます。感覚に偏りがあり、ベタベタする感覚が苦手なお子さんには、心地よいと感じる素材から徐々にいろんな素材に慣れていく遊びをしていきます。できることが増えてくるとお子さんはもちろんのことお母さんも笑顔が増えていきます。

今後も、笑顔で楽しく遊びを通してお子さんの支援に取り組んでいきたいと思ひます。



スイングに乗りバランスを取る訓練



ボールプール 身のこなし練習

作業療法士だから引き出せる

スポーツのガ

～NPO法人キッズスポッチャでの取り組み～

こどもデイサービス夢色 津田 憲吾



2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催が決まり、徐々にではありますが障害者スポーツへの関心は高まっています。しかし、日本において障害者スポーツの認知度は、決して高いとは言えません。そのため、大人もさることながら、子どもの頃よりスポーツに取り組める機会は非常に少ないのが現状です。

私は「NPO法人キッズスポッチャ」という、障害を持つお子さんを対象にしたスポーツチャレンジ事業に、平成22年より携わっています。また、本事業では障害を持たないお子さんと障害を持つお子さんとの合同教室や、大分国際車椅子マラソンへの協力(エスコートキッズ)など、社会と繋がるための企画も積極的におこなっています。

障害を持つお子さんは、移動等に介助を必要とすることが多く、物理的に生活空間が限定されています。そのため、同年代の障害を持たないお子さんと比較すると、放課後や休日に諸体験をする機会も大きく制約されています。そういう生活の中で「スポーツ」という活動することで、普段接している家族や学校の先生、リハビリスタッフに加え、大人や同年代の障害を持たないお子さんとも交流することができます。こうした体験により、障害を持つお子さんの生活空間は拡大し、身体を動かす機会が増えると考えています。また、社会との繋がりを持つことで、社会で自立する意欲と社会性の獲得に繋がっていくことも期待できます。また、参加した障害を持たないお子さんとサポートスタッフにとっても、障害の有無に関わらず、純粋に感動し同じ立場で物事に取り組むことは、ノーマライゼーション理念(障害者と健常者とは、お互いが特別に区別されることなく、社会生活を共にするのが正常なことであり、本来の望ましい姿であるとする考え方)への足掛かりになると考えています。特に、子どもの頃より対等・平等の環境の中でスポーツを体験するこのような経験を重ねることが、

障害を持つお子さんや大人をより良く理解する啓発活動につながっていくと期待しています。

「五体不満足」の著者であり、スポーツライターとしても活躍されている乙武洋匡氏は、著書の中で、子どもの頃に友達と遊ぶ際には「乙ちゃんルール」なるものが存在したと書いています。このルールは既存のルールを柔軟に変化させる特効薬であり、著書からは、このルールを使用したことで、友達全員で遊んでいた様子が伺えます。

障害があっても、障害がなくても、誰もがそれぞれの幸せを手にするためには、「乙ちゃんルール」のように、互いが柔軟に物事を受け入れていく姿勢が大切です。

私は、作業療法士がスポーツに関わることで、この柔軟な姿勢を構築する一助となると考えています。

「その人らしさ」を引き出し、「人と人」を結び、「人と地域」を結びつける。これこそ作業療法士だから引き出せる「スポーツの力」ではないでしょうか。



世界作業療法士連盟大会 (WFOT) 参加報告

大分県作業療法協会
広報誌「伝 DEN」の
「まんがが作業療法物語」の
英語版が展示
されました！

WFOT (World Federation of Occupational Therapists / 世界作業療法士連盟) は、1952年に設立され、世界中の国と地域を代表する作業療法士の協会によって構成される唯一の国際的な作業療法士の職能と学術の団体です。WFOT 大会は、WFOT 加盟国の作業療法士が集い、それぞれのお国柄の違いを紹介しながら学術と文化の交流を図る唯一の国際的な学術集会で、WFOT が設立された2年後から4年に一度開催されています。今回、大分県と宮崎県が「まんが」を使った広報を先進的に取り組んでいるということで、WFOT 2014 企画委員会からの

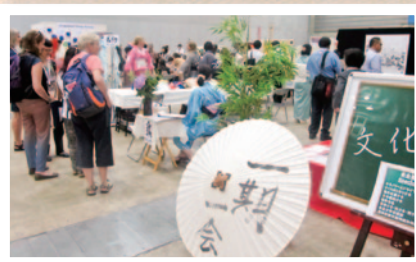
オファーがありました。そこで、九州各県の作業療法士協会に声掛けし、各県で行っている広報活動を全国のみなさんに知っていただく機会として、ブースの出展に至りました。各県ユーモアのあるものばかりで、大分県も負けてはいられないと思いました。

会場のパシフィコ横浜には前日入りしたのですが、会場が大きすぎてその時には人がどれだけ入るのか想像もつかないような状態でした。私たち大分県はマンガを英訳しポスター展示しました。

集まった作業療法士の数と比べるとやや小さなブースでしたが、マンガ媒体に興味を持っていたアジア圏の作業療法士の方からは、「どこにアクセスすればいいのか？」と問い合わせもあるほど、関心を集めることができました。

しかし、うまくいくことばかりでなく言葉の壁を痛感したのも事実です。英語を話せるスタッフも準備していたのですが、ポルトガル語、スペイン語など多様な言語や、そもそも文化の違いから、箸の使い方の練習など日本独自の作業療法を質問され、想定外の質問にうまく答えられず苦い思いをしました。

4日間の活動の中で多くの方々から「グッドアイデア」という言葉をいただき、大分県作業療法協会の取り組みも世界に伝わったような気がします。作業療法士が今後もしっかりと日本の生活文化を支援できるように広報をしていきたいと思います。



作業療法一日体験

＊高校生が作業療法を体験＊

当協会では、人生のより早い時期に作業療法(士)やリハビリテーションについて触れる機会を提供し、これらについて理解を深めることを目的に、「作業療法一日体験」を実施しております。中でも作業療法士が働く施設の見学と作業療法を実際に体験してみるという取り組みは、とても好評です。今年度で7年目を迎えましたが、これからも少しでも多くの高校生に作業療法を知っていただきたいと考えています。



受け入れ現場の感想

当日は、作業療法の仕事を知ってもらうだけでなく、この仕事をする上でのやりがいや意義を素直に語らせていただきました。また、高校生には、実際に患者様に対して行っている評価や治療に用いる道具や機器などを体験してもらいました。この一日体験が、参加された高校生の夢や目標の達成に役立てれば光栄です。

井野辺病院 岸本 周作

受け入れ現場の感想

今回は、花紙での創作活動体験と訓練場面を見学していただきました。創作活動体験では、初めは緊張していましたが利用者と同じ作業をしていく過程で会話も増え、高校生も利用者も自然と笑顔が増えていきました。作業を通じた対人交流は、利用者の不自由なところや気持ちを共感できるととても良い体験です。

今回の体験が、障害者の気持ちや生活を知るきっかけになれば幸いです。

ニコニコ銘水苑 相馬 優樹



高校生の感想(アンケートより)

- 訓練を見学して患者様の状態に合わせた工夫がされておりすごいと思いました。
- 作業療法のイメージは歩く練習ばかりと思っていましたが色々な訓練があることを知ることができました。
- 作業療法という名前は知っていましたが、仕事内容は知らなかったなので作業療法を知るきっかけになりました。
- 作業療法をすることでみなさんが自然と笑顔になっていたのが印象的でした。



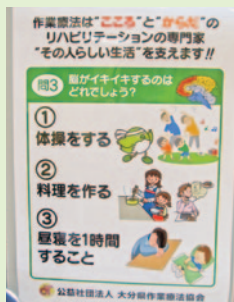


作業療法 フェスタ2014



8月17日(日)、今年もイオン パークプレイス大分で開催しました。今回は、「“こころ”と“からだ”のリハビリテーション」の専門家、“その人らしい生活”を支えます」をテーマにクイズコーナーと作業体験コーナーを設けました。

前日に NHK放送や大分合同新聞で取り上げられたこともあり、当日は小さなお子さんから高齢の方まで、約 400 名の方々に訪れていただきました。



クイズコーナーでは、作業療法や福祉用具、脳が生き生きとする取り組みや足腰の運動に関する問題を出題しました。実物を用いた車いすや歩行器などの福祉用具の使い方、脳や膝の模型を使った障害の原因となる病気の説明に、参加された方々はとても興味深く耳を傾けていました。



作業体験コーナーでは、うちわに絵の具で絵を描いてもらいました。白紙に直接絵を描くことから、「難しそう」との声も聞かれましたが、お子さんを中心に体験希望者が途切れることなく、用意していた材料がすべてなくなるほどの盛況ぶりでした。



来場された方から、「介護保険って何ですか?」、「親に合う福祉用具を教えてほしい」、「作業療法士が病院以外の会議などに出ていることを知らなかった!」などの声が聞かれ、また「作業療法士を目指したい」という高校生もいました。昨年にも増して、県民のみなさんの作業療法やリハビリテーションへの理解や関心が高まっていることを実感しました。



今後も、作業療法が県民のみなさんの身近なところでお役に立てるよう、様々な催しを開催しますので、どうぞお気軽にお声かけください。





地域生活とは・・・

高森 聖人

(会長／株式会社 空色)



仕事上の必要性から受講した研修会で、明らかに私よりも若い講師が、「私たち(福祉関係者)は自身の生活のことをあえて“地域生活”とは言わない」と話していました。確かに言われてみればそうです。みなさんもご自身の普段の生活のことを、わざわざ“地域生活”とは言わないと思います。ですが、リハビリテーションや高齢者福祉、障害者福祉の世界において、“地域生活”というものは真に重要な意味を持つものだと思います。なぜならば、病気や障害、加齢等によって、住み慣れたところ、あるいは望むところで望む暮らしをするということが難しくなってくるからです。それだけではありません。周囲の理解や環境によってもずいぶん違ってきます。

学生のときに知り合った重度四肢麻痺で車いすを使用している女性が親元を離れ独立し、同じような障害のある男性と結婚、3人のお子さんを出産されました。彼女が独立し、結婚するときはたくさんの人がかかわり、彼女の生活を支えていきました。ところが、一人目のお子さんの妊娠、出産のとき離れていった人たちがいます。そこには色々な考え方や想いがあり、一概には言えないのですが、彼女の生き方、人生の選択に賛同できなかったのだと思います。

話は変わって、障害のある方や介護の必要な方にとっての住まいの場であるグループホームをつくろうとするときに、その地域に住んでいる人たちを対象に説明会等を開いたりして同意を得ようとする場合があります。でも、ある作業療法士曰く、一般の方が家を建てるのにわざわざ説明会を開いたりしないよね…と。単純に比較はできませんが、確かに挨拶まわりぐらいはしても説明会を開くことはありません。私たちが地域で暮らすのに「ここに住んでいいですか」とか、「結婚していいですか」「出産していいですか」と家族などごく親しい人以外に確認することはないわけです。

私たち作業療法士は、対象となる方が地域で暮らせるよう、住み慣れたところに戻れるよう様々な支援を行います。また、すでに地域でお住まいの方には、その生活が維持できるよう、生活の質(QOL)がより向上するよう支援していきます。しかし、地域生活を送ることが難しい方の支援は私たち専門職だけでできるものではなく、みなさんが当たり前と思っていることが普通にできる地域になることが大事だと思っています。誰もが望む場所で暮らし、働き、人生を楽しむことができるよう、地域にお住まいのみなさんと一緒に考え、行動できる、そんな職種でありたいと願っています。

活動報告 2014年6月▶2014年9月

啓発普及活動

【事業部】

高校生「作業療法一日体験」活動規模：県内高等学校(170名)

日 時：平成26年7月1日(火)～8月30日(土)

場 所：会員所属施設

内 容：医療・保健・福祉施設での作業療法体験と見学

作業療法フェスタ2014 大会規模：約600名

日 時：平成26年8月17日(日) 9:00～14:00

場 所：イオン パークプレイス大分店 サニーウォーク1F

内 容：作業療法クイズ、認知症相談、うちわ製作、福祉用具展示など

研 修 会 等

【教育研修】

新卒者研修会 (参加者58名)

日 時：平成26年6月8日(日) 9:30～16:00

場 所：ピーコンプラザ

内 容：①(公社)大分県作業療法協会の歴史・組織について
講 師：高森 聖人(会長/榎空色 こどもデイサービス夢色)
②大分県作業療法士連盟の紹介・説明
講 師：荒木 良夫(大分県作業療法士連盟会長/藤華医療技術専門学校)
③支部紹介・部局紹介・関係諸団体からのお知らせ
講 師：工藤 友治(教育研修部長/大分下郡病院)
④関連諸団体の紹介と説明、当協会入会について
講 師：藤原 一(事務局長/藤華医療技術専門学校)

地域ケア会議助言者養成道場 (参加者14名)

日 時：平成26年6月15日(日) 10:00～16:00

場 所：大分県作業療法協会ビル

内 容：地域ケア会議での作業療法士が果たす役割

講 師：佐藤 暁(常務理事/井野辺病院)

研修会講師養成道場Ⅰ (参加者8名)

日 時：平成26年7月13日(日) 9:30～16:40

場 所：大分県作業療法協会ビル

内 容：①「伝えるコツ」～作業療法の技を活用しよう～
講 師：後藤 英子(常務理事/大分リハビリテーション専門学校)
②講義プラン作成方法
講 師：工藤 友治(教育研修部長/大分下郡病院)
③プレゼンテーションの作り方
講 師：洲上 祐亮(湯布院病院)
④演習 個人テーマプラン作成

地域ケア会議助言者養成道場 (参加者14名)

日 時：平成26年6月15日(日) 10:00～16:00

場 所：大分県作業療法協会ビル

内 容：地域ケア会議での作業療法士が果たす役割

講 師：佐藤 暁(常務理事/井野辺病院)

現職者共通研修Ⅰ (参加者21名)

日 時：平成26年7月27日(日) 9:30～15:00

場 所：ホルトホール大分

内 容：①作業療法生涯教育概論
講 師：工藤 友治(教育研修部長/大分下郡病院)
②職業倫理
講 師：山本 勝一(常務理事/オアシス宇佐)
③作業療法における協業・後輩育成
講 師：伊賀 信也(日田玖珠支部長/聖陵岩里病院)

研修会講師養成道場Ⅱ (参加者8名)

日 時：平成26年7月24日(木) 19:30～21:30

場 所：大分県作業療法協会ビル

内 容：個人課題発表会 ①

研修会講師養成道場Ⅲ (参加者8名)

日 時：平成26年8月7日(木) 19:30～21:30

場 所：大分県作業療法協会ビル

内 容：フィードバック、講義プラン作成

現職者共通研修Ⅱ (参加者25名)

日 時：平成26年8月24日(日) 9:30～15:00

場 所：コンパルホール

内 容：①事例報告と事例研究
講 師：尾山 泰宏(宇佐高田支部長/宇佐病院)
②保健・医療・福祉・地域支援
講 師：中村 雅之(大野支部長/ニコニコ銘水苑)
③実践のための作業療法研究
講 師：山田 康二(大分岡病院)

研修会講師養成道場Ⅳ (参加者8名)

日 時：平成26年8月21日(木) 19:30～21:30

場 所：大分県作業療法協会ビル

内 容：個人課題発表会 ②

現職者共通研修Ⅲ (参加者32名)

日 時：平成26年9月7日(日) 9:30～12:40

場 所：ホルトホール大分

内 容：①作業療法の可能性
講 師：後藤 英子(常務理事/大分リハビリテーション専門学校)
②日本および世界の作業療法の動向
講 師：大塩 啓介(元海外青年協力隊員/こどもデイサービス夢色)

【学術研修】

生活行為向上マネジメント研修会基礎コース (参加者78名)

日 時：平成26年6月1日(日) 10:00～15:00

場 所：臼杵市医師会立コスモス病院

内 容：総論、マネジメントプランシートの記入練習

講 師：佐藤 友美(介護老人保健施設 健寿荘)

ファシリテーター：花谷 達也(明和記念病院)

真田 康孝(介護老人保健施設 南山園)

石橋 正裕(デイケアセンター 月うさぎ)

川野 鈴加(津久見中央病院)

生活行為向上マネジメント研修会演習コース (参加者24名)

日 時：平成26年8月3日(日) 10:00～12:00

場 所：大分県作業療法協会ビル

内 容：症例発表、グループディスカッション

ファシリテーター：佐藤 友美(介護老人保健施設 健寿荘)

花谷 達也(明和記念病院)

現職者選択研修 発達障害領域 (参加者37名)

日 時：平成26年9月28日(日) 9:30～16:40

場 所：ホルトホール大分

内 容：①発達障害領域の基礎知識と作業療法の課題と展望
②作業療法の実践 1 0歳～就学前
講 師：黒崎 浩(大分療育センター)
③作業療法の実践 2 就学前・学童期・青年期以降
④自閉症スペクトラム障害児に対する作業療法の実践
講 師：高森 聖人(会長/榎空色 こどもデイサービス夢色)

作業療法実践セミナーⅠ (参加者13名)

日 時：平成26年7月13、17、31日 19:30～21:00

場 所：大分県作業療法協会ビル

内 容：統計の基礎講義、実践演習と指導、持ち込み課題結果の発表

講 師：彌田 剛(藤華医療技術専門学校)

第18回

The 18th Academic Meeting of Oita Occupational Therapy

大分県作業療法学会

特別講演

介護予防とヘルスプロモーションに
おける作業療法士の役割

～健康増進のための支援～

講師：安本 勝博氏（岡山県津山市健康増進課 主査）

2015 **1.25** 9:25～ **sun** | **大分コンパルホール**
(多目的ホール／300・309会議室)

地域包括ケアシステムの実現に向けて
いま作業療法士が果たすべき役割とは

講演 1

杵築市の挑戦

～介護予防・日常生活支援総合事業における取り組み～

江藤 修氏（杵築市高齢者支援課課長補佐）

講演 2

作業療法士一人一人が果たすべき役割

～地域包括ケアシステムを推進するために～

佐藤 孝臣（大分県作業療法協会副会長・株式会社ライフリー代表取締役）

一般演題

※今回口述のみのセッションになる予定

演題募集

抄録締め切り／平成26年10月17日(金)

スライドデータ締め切り／12月19日(金)

※今回募集要項にいくつか変更点がございます。詳しくはホームページよりご確認ください。

お問い合わせ先

(公社)大分県作業療法協会

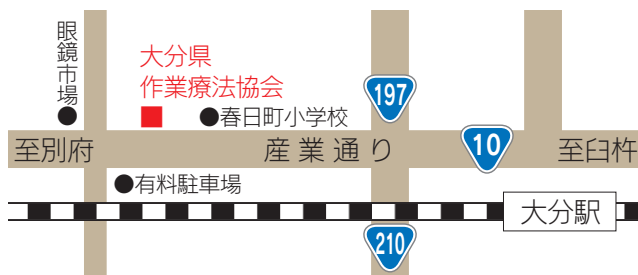
大分市西春日町3-2

TEL.097-547-8662 FAX.097-547-8663

http://www.oita-ot.com



リハビリテーションのことや、作業療法のことで分からなかったり、お困りのことがありましたら、右記までご連絡ください。



公益社団法人 大分県作業療法協会

〒870-0038 大分県大分市西春日町3-2 大分県作業療法協会ビル

TEL:097-547-8662 FAX:097-547-8663

http://www.oita-ot.com